



更なる飛躍を市民の皆様とともに 目指してまいります。

新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶申し上げます。
市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中は、本市行政に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。
さて、昨年は新たな「尾道市総合計画」を策定し、より住みよいまちを目指したスタートの年でもございました。
安心して子どもを産み育てられるよう、15歳までの子ども医療費の助成をはじめ、子育て世代包括支援センターの整備等により、妊娠・出産期から子育て期にわたる様々な支援の充実に取り組みました。
さらに、台中市との友好交流覚書締結等の国際交流の促進、百島みんなの家、東生口公民館の建設、新庁舎の着工といった市民生活を支える施設整備を着実に進めてまいりました。
また、本市が市民の皆様と進めているまちづくりが追い風となり、JR西日本の豪華寝台列車トワイライトエクスプレス「瑞風」の尾道駅への停車、豪華客船「ガンツウ」の就航、スマートフォン向けアプリ「ソラとウミのアイダ」に代表されるように、多様なメディアに本市が取り上げられるなど、民間の意欲的な事業展開を呼び込んでいます。
本年、尾道市は、明治31年(1898年)に県内で2番目に市制を施行してから120周年の節目の年を迎えます。6月には花いっぱい全国大会、10月には国際サイクリング大会、11月には北前船寄港地フォーラムを開催するなど、国内外から多くのお客様をお招きすることとなります。
来年(2019年)には尾道港開港850年、尾道駅新駅舎の完成、再来年(2020年)には新しい本庁舎も完成するなど、本市にとって大変重要な期間となります。
これらを好機と捉え、更なる飛躍を市民の皆様とともに目指してまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。
今年一年が、皆様にとりまして幸多き一年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

尾道市長
平谷 祐宏



「身近で開かれた議会」を目指し、 議会改革に取り組みます。

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。
また、日頃から市議会の各般にわたる活動に対しまして、格別のご理解やご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
昨年を振り返りますと、国内では、7月に九州北部豪雨が発生し、福岡県と大分県を中心に甚大な被害をもたらしました。本市でも、9月の密集地連続火災において、多くの方が被害に遭われております。改めまして、被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。
さて、尾道市におきましては、本年は、市制施行120周年を迎える節目となる年になります。将来にわたり、この歴史と伝統を持つ美しい尾道を守り、住みよいまちを築くため、今後も、財政の健全化に向け、持続可能な行財政運営を求めるなど、議会の果たすべき使命と役割は更に大きくなると予想されます。
市議会においては、議会基本条例に掲げる「身近で開かれた議会」を目指し、議会改革に鋭意取り組んでおります。なかでも、議会運営の活性化や議会、議員活動の効率化を目的として、昨年からはタブレット端末の導入に向けたプロジェクトチームを設置し、調査研究を行っております。早期導入を検討するとともに、各種情報提供に要する時間の短縮やペーパーレス化による経費削減に努めてまいり所存でございます。
市民の皆様のご意見、ご要望を真摯に受け止め、市政に反映させてまいりますので、本年もご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。
年頭にあたり、市民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

尾道市議会議長
吉田 尚徳

